

年月日	13 03 06	ページ	07	NO.	
-----	----------	-----	----	-----	--



食品放射能測定システム 校正・修理を一元提供

関西電子

関西電子（東京都新宿区、進士国広社長、03・5333・5681）は、簡単に操作できる食品向け放射線測定システム（写真）を開発、発売した。食品に含まれる放射能が厚生労働省の基準値以下かどうかを測定できる。東日本大震災以降

膨らんだ需用に応え、国や研究所、大学、食品を扱う企業などに売り込む。価格は標準品で285万円を予定。13年中に100台の販売を目指す。新製品はシンチレーション方式で、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を同時に測

定できる。自社開発・国内生産で、校正業務や修理などのアフターサービスを一元提供できる点などを訴求する。

本体に加え、専用ソフトをインストールしたパソコンが付く。専用の容器に検体を詰め、パソコンで1時間ほどで測定ができるという。食品のほか、土壌、飼料、肥料などを測定できる。パソコンからの電源で動く。関西電子は各種理化学機器のファブレスメーカー。